

# 現場が育む—被災地での共創と若い力

2015年7月25日(土) 14:40-17:50 司会 西洋子 東洋英和女学院大学 人間科学部教授

発題1 弓削田綾乃 (ゆげたあやの)

わたしがそこに通う理由  
—TEAWASE参加者の意識から考える

早稲田大学スポーツ科学研究センター招聘研究員

■ プロフィール

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較化学専攻博士後期課程修了。博士(人文科学)。専門は舞踊人類学、身体教育学。お茶の水女子大学リサーチフェロー、同研究員、早稲田大学客員研究員、同オープン教育センター・グローバルエデュケーションセンター助教を歴任。

■ 主要業績

『共生力を育む感性的創造体験としての身体表現あそびの実践研究』『SSFスポーツ政策研究』第3巻1号、笹川スポーツ財団、2014。『近代日本の身体表象—演じる身体・競う身体』(共著)森話社、2013。

東京から宮城県石巻市まで、新幹線とバスを乗り継ぎ、およそ3時間半。石巻・東松島で月に1回開かれる身体表現ワークショップ「TEAWASE」に参加するために、これまで関東から多くの人たちが足を運んできました。津波の痕跡が残る場所を歩き、被災された方のお話を伺い、ワークショップで様々な人たちと手と手を合わせる—回を重ねるごとに、何と出会い、何が刻まれてきたのでしょうか。一人一人が、かけがえのない“わたし”として書き記した感想をもとに、被災者ではない参加者が、被災地で向き合ってきたものを考えたいと思います。

発題2 板井志郎 (いたいしろう)

被災地での研究から見えてきたもの

早稲田大学理工学術院助教

■ プロフィール

早稲田大学理工学術院博士課程満期退学。博士(工学)。2012年4月より早稲田大学理工学術院助教。専門はヒューマンインターフェース、共創システム。

■ 主要業績

『Emotional Engineering(Vol.3)』(共著)Springer社、2015。『ソフトエンブレメント』『計測と制御』(共著)第51巻11号、2012。『共存感の創出とリズム表現による間合いの生成について』『情報処理学会論文誌』(共著)第48巻12号、2007。

我々は、多様な人々による集団的な創造活動である「共創」を支援する科学技術について研究してきた。この技術研究では社会に向き合うこと、つまり研究を社会(現場)に見せ、それを研究に反映させるというプロセスが必須となる。この一環として、表現未来の会(代表・西洋子、三輪敬之)を中心に、被災地(石巻市、東松島市)において、研究者と現地の方が共に身体表現ワークショップを3年以上継続的に実施している。本発表では、被災地での研究は、他の現場での研究とは異なり、研究そのものを深めていくための気づきや本質的な問題を発見することができる可能性を持っていることについて考えたい。

発題3 木津石生 (きづいっせい)

想い共有—被災地の人々との作品作りを通じて

みんなのダンスフィールドコーディネーター

■ プロフィール

5歳から『みんなのダンスフィールド』に参加。2014年2月からはコーディネーターとして運営にも携わる。障害の有無にかかわらず多様な個性と共にインクルーシブな身体表現を行い、継続的に地域や学校などでのワークショップやパフォーマンスを実施している。2010年には、イタリア・ジェノヴァで開催されたサイエンスフェスティバルにおいて「Shadow Awareness II: Dual2010」で身体表現を行う。現在、工学院大学3年。

「ふるさとのめぐみ」は石巻に長年住んでいる方々と関東に住んでいるみんなのダンスフィールドが一緒になり、石巻の情景を身体で表現した作品です。2014年8月、イオンモール石巻で上演しました。この作品作りを通して知った、離れた地域で暮らす人々が想いを共有すること、一つの表現の世界を共創することの難しさ、震災の爪痕の大きさなど、お話ししたいと思っています。

発題4 TEAWASE参加の  
大学生・卒業生

被災地で活動する大学生・卒業生からのメッセージ

毎月、石巻・東松島で開かれるワークショップTEAWASEには、年齢、性別、障害の有無、被災経験の有無にかかわらず多様な人が集まります。ここに来ると自然とからだ動き、自由に表現することができます。また、自身も知らない新しい自分を発見することもあります。東京からは先生方や東洋英和の学生だけでなく、2年前の初期のメンバーの卒業生の方、共創表現の工学的支援を目指している早稲田大学創造理工学部の方も参加していて、様々な人が集まり共に表現することで、さらに充実した楽しい表現の場になっていると感じています(内藤帆南、東洋英和女学院大学4年生)。

□ シンポジウム会場  
東洋英和女学院大学大学院  
(六本木) 201教室  
東京都港区六本木5-14-40  
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□ 受付開始 14:10  
□ 参加費 1,000円 (本学院在校生・教職員無料)  
□ 当日先着順100名様 □ 事前申込み不要  
□ 最寄駅 六本木駅(日比谷線徒歩10分)  
麻布十番駅(大江戸線徒歩5分、南北線徒歩7分)

◀ 予告 ▶ 10月24日(土) 14:40 - 17:50 (受付開始 14:10)  
東洋英和女学院大学死生学研究所 <公開> 連続講座「生と死に寄り添う」  
第5回 石井香世子「いのちと国家とお金—東南アジアから考える」  
第6回 渡辺和子「生死をかける誓約の伝統—古代メソポタミアから現代まで」  
※参加費: 各回500円(本学院在校生・教職員無料) ※事前申し込み不要